

'09年度前期価値システム討議・実験(2009年6月24日)

テーマ(1) 第一試合 13:20~14:05 910教室

「厚生労働省は薬の通販規制を 緩和すべきである」

肯定側
【2班】

否定側
【4班】

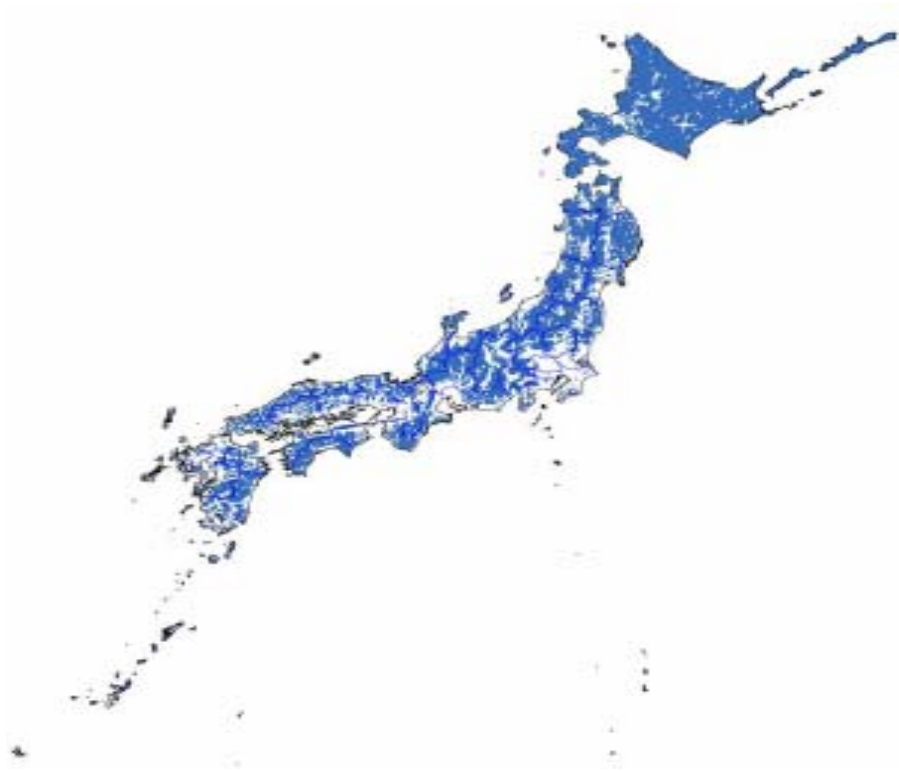
肯定側 立論

肯定側のメリット

1. 利便性
2. 安全性
3. 雇用の確保/経済効果

論点(1): 利便性(1/2)

薬局・薬店が10Km圏内に不在の地域
⇒地図中の塗りつぶしの部分



無薬局町村数

186 (平成19年度末)

無薬局町村のある都道府県


37 (平成19年度末)

出典: 楽天「医薬品の通信販売規制問題」

論点(1): 利便性(2/2)

- 薬の通信販売に関する利用者の声

離島住民  ネットでの薬の購入が必要不可欠である

障害者(特に聴覚障害者)  対面販売では話が聞き取れない

働く方  仕事が忙しくて終電で帰宅の方

論点(2):安全性(1/3)

- 通信販売は対面販売以上に安全性に気を使っている

年齢確認の強化、サポート体制の充実

- 対面販売が安全性向上につながるというのは短絡的である

(例1)薬害エイズ訴訟の問題

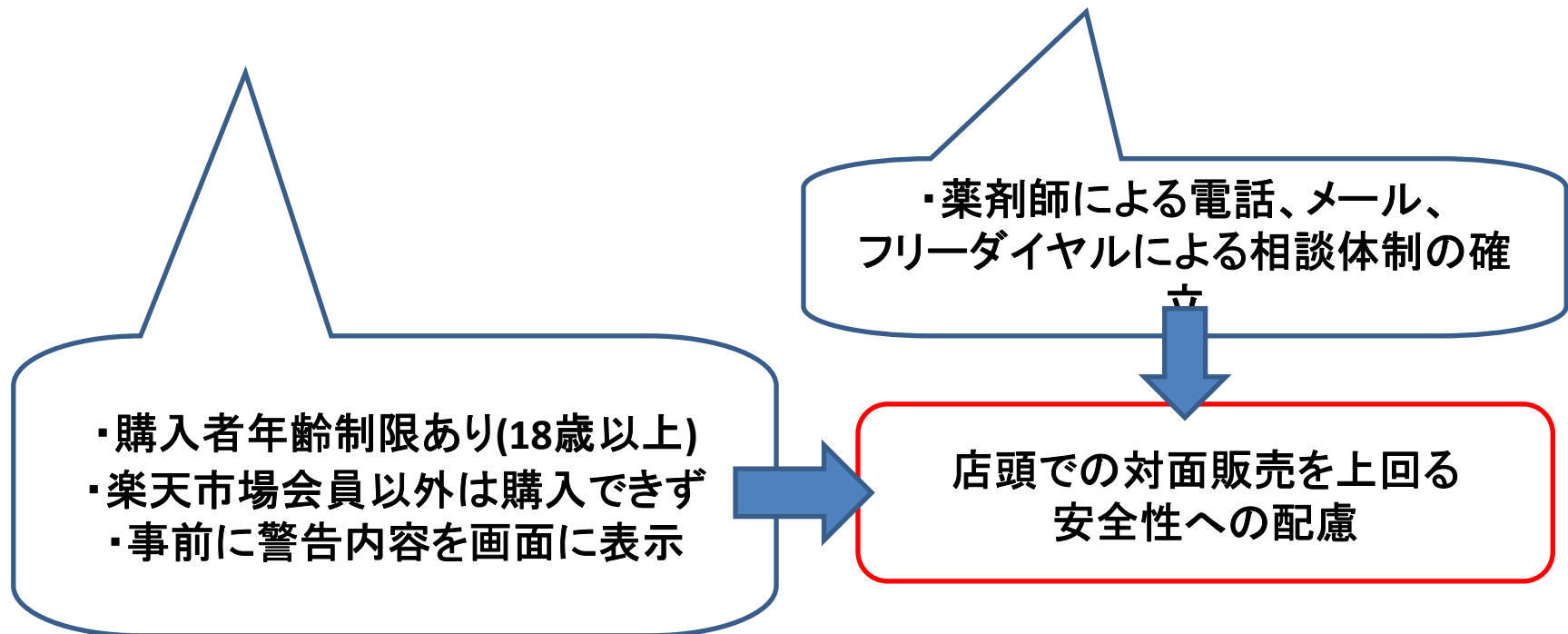
(例2)薬の訪問販売によるトラブルの多発

証拠:薬のネット販売はなぜ「事実上禁止」とされたか -「薬害防止」を隠れ蓑に官僚とコンビニ業界の癒着では
-JanJanニュース

<http://www.news.janjan.jp/living/0906/0905314337/1.php> (アクセス日:2009年6月22日)

論点(2):安全性(2/3)

- ・薬のネット販売における安全対策(楽天市場-ケンコーコム)



論点(2):安全性(3/3)

- 薬剤師は常駐している訳ではない
- 本人でなくとも購入可能
- 専門家でない「登録販売者」で安全性が確保されるのか

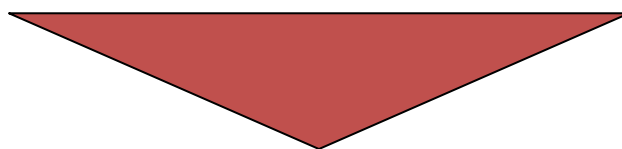
某大手スーパー某店舗の
薬局コーナーにおける
薬剤師の不在時間
(2009年6月20日 撮影)

薬剤師不在予定時間
火曜日-金曜日
午後5時30分~午後10時(閉店時間)
まで

現状の「対面販売」には安全面で不備がある

論点(3):雇用の確保/経済効果(1/2)

薬の通信販売ができるようになると



製薬会社の売上が増加し

GDPが増加

製薬会社の雇用の増加

技術開発力と国際競争力

楽天などの企業

論点(3):雇用の確保/経済効果 (2/2)

- 第 1 次産業に分類される事
の多い「医薬品」販売
業者にとっては 業の



「医薬品」販売業者にとって、
電話、インターネットによる
販売は生

肯定側のメリット(まとめ)

- 利便性
- 安全性
- 雇用の確保と経済的効果